

バックオフィス業務の拡充



代表取締役 石橋 敬氏

ほか、バックオフィス業務に従事する皆さん

取組概要

【デジタル技術などの活用による生産性向上】

・従来、現場技術者が現場業務と並行して行ってきた業務や、i-Construction 推進により新たに求められる ICT 業務をバックオフィス業務として集約

- ①ICT 業務 (UAV 測量→写真解析 BIM/CIM 等)
- ②新技術開発⇒NETIS 登録申請業務
- ③積算・見積業務

工事部主任 竹内 桃花氏

—働き方改革と生産性向上と同時に実現する手法として、女性活躍推進を重要な課題に位置付けていると伺いました。

石橋代表取締役： 建設業界では若年就業者の減少と将来にわたる担い手不足が深刻な課題となっています。私は以前から様々な場所で、女性の仕事に対する完成度の高さを実感しており、積極的に採用したいと思っていました。転機は6年前、技術者として竹内が入社した頃。そこから女性の採用が増えていきました。

ちょうど国の i-Construction 推進により、UAV 測量や写真解析など高度な ICT 業務が求められていました。こうした業務を内製化し、専門性を高めることが競争力向上に不可欠と考え、ICT 関連業務を含むバックオフィス業務に、女性活躍の基盤を構築しました。

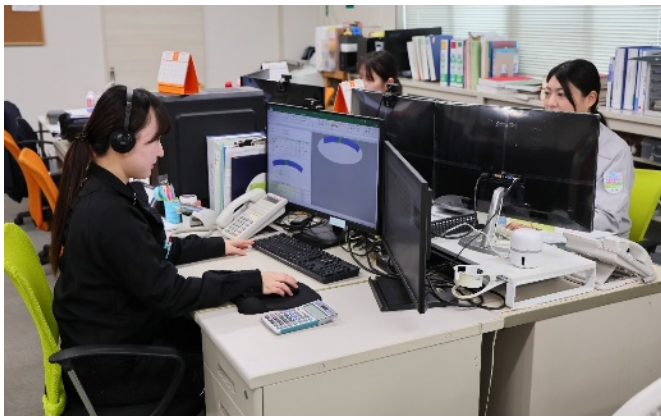
—竹内さんは入社当初からバックオフィスの業務に従事されたそうですが、具体的にはどのようなことを担当していますか？

竹内主任： 主に UAV 測量による写真解析や BIM/CIM、ROV などの ICT 業務や積算、見積業務、NETIS への登録申請などです。これらを専門的なバックオフィス業務として分離・集約化したことで、現場技術者が管理業務に専念できる環境になりました。残業時間の大幅削減と処理時間の短縮、精度の向上も達成しています。



なお、バックオフィス業務に従事する女性社員は4名いますが、全員「建設ディレクター」制度を取得しており、「土木施工管理技士」や「二等無人航空機操縦士」なども経験値に応じて取得しています。

石橋代表取締役： 従業員からは「新たな部門の創出により女性が責任を持って活躍できる」「技術開発の分野などに応用でき、働き甲斐が上がる」という声が寄せられています。



バックオフィス業務に従事する様子

—新たな取組を進める中で、心掛けたことなどを教えてください。

竹内主任： やはり現場のことを理解していないといけないし、現場とのコミュニケーションも絶対に大切だと思い、時折現場へお邪魔して勉強させていただきました。

—女性社員による「なでしこパトロール」を実施することで、さらに女性が活躍する場所が広がったとお聞きしました。

石橋代表取締役： 月に1度、女性社員が稼働中の現場をチェックしていますが、女性ならではの視点が活かされ、安全面や衛生面が劇的に変わりました。また現場の環境が改善されたことで、女性の活躍の場がバックオフィスから現場管理業務の領域まで拡充されています。現在は性別に関係なく各人の適性と能力に応じた適材適所での業務配置が可能となりました。



女性社員による「なでしこパトロール」

—貴社は九州地方整備局のICTアドバイザーとして講演なども行っているそうですね。

石橋代表取締役： 九州地方整備局管内の中小企業において、港湾の施工業社でICTアドバイ

ザーを持っているのは当社だけです。私が社長に就任した5年前、すぐに着手したことの1つです。当初、知識は全くありませんでしたが、努力を重ねてインフラDX大賞や、DXセレクションの優良事例に選抜され、私や竹内が講演を頼まれるようになるなど、会社としての幅が拡大しています。



現場で活躍する女性社員
(水中ドローン操縦)

—今後の展望についてお聞かせ下さい。

石橋代表取締役： 当社はもともと技術屋で、昔から技術開発に旺盛な会社です。当社のメインである浚渫でトップを走り続けるためには、技術開発が必須と考えており、積極的に技術投資できる社内環境を造成しています。

技術を残す、という点では国土交通省が運用している「NETIS」という新技術の情報を共有・提供するデータベースに、我々の技術を登録申請しています。特許を取らずオープンにしている理由は、私たち港湾の世界は1社だけ先を走っていても仕事できません。新しい技術は公開し、業界全体で一緒に階段を上がっていきましょう！というのが当社のスタンスです。これからもICTや、女性活躍推進で生産性を上げながら技術開発も行うことで、業界全体を底上げしていきたいと考えています。

株式会社白海

業種	港湾工事
代表者	代表取締役社長 石橋 敬
従業員数	66人
所在地	北九州市若松区響町三丁目1-33
HP	https://shirakai.jp/
電話番号	093-751-0350

